



● 広報

おぐに

2016

10

NO. 744



～実りの秋～

9月10日、松岡地内において、おぐに酒米づくり実行委員会（野沢重徳会長・会員11人）が、酒米の刈取りを行いました。これは、実行委員会が地産地消を推進しようと20数年ぶりに本町での酒米づくりを復活させたもので、5月に植えた苗が黄金色に輝く稲穂となって子どもの胸の高さまで成長し、この日の収穫を迎えました。秋晴れの中、会員が手作業で稲刈りを行い、収穫の喜びを感じていました。

農業を支える新たな力

～持続可能な農業経営を目指して～

日本の食を支えている農業。農業を取り巻く環境は、人口減少・少子高齢化の影響などにより、農業従事者の減少や高齢化が進行し、耕作放棄地の増加や担い手不足による農地の荒廃化が懸念されるなど、厳しい状況にあると言えます。また、本町においては中山間地域であることに加え豪雪地域であるため、他地域と比較して農業に恵まれている条件にあるとは言えません。一方で本町において新たに農業に取り組もうとしているかたがおり、町ではこうした新規就農者支援の一環として「創農チャレンジ応援事業」を展開しています。この制度を活用して新たに農業を始め、意欲的に取り組む方々を紹介しながら、これからの本町の農業振興について考えます。

農業が担う役割

私たちの生活の「食」を支える農業。農業は私たちにとって無くてはならない大切な産業です。農地は農作物を生産する場としての役割だけでなく、環境の保全、生態系の維持などといった自然環境保全の機能があるとともに、雨水などを一時的に貯留し洪水や土砂崩れなどを防ぐ役割を果たしています。さらに、農地を維持していくことは、潤いある日本の原風景を残していくことにもつながります。

こうした多面的な役割を持つ農業を守り、持続的な農業を展開していくためには、農業の担い手の確保・育成や農用地の集積、農作業の効率化などの取り組みが重要になります。

しかし、近年全国的に人口減少・少子高齢化が進行する中、農業従事者が減少・高齢化し、農地を守っていくことが困難になっている地域もあります。平成27年の農林業セ

特集 農業を支える新たな力～持続可能な農業経営を目指して～

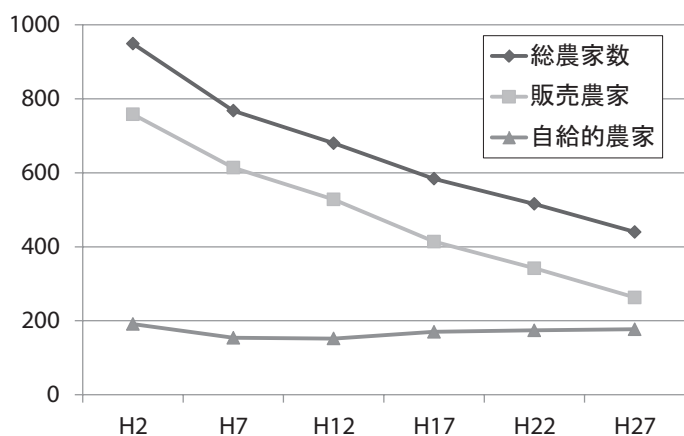


表1：本町の農家数推移（農林業センサス）

ンサスによると、日本の農業従事者数は約209万人と、全人口の約1.6%という数です。平成22年の調査と比べ約50万人減少しています。また、農業従事者の平均年齢は66.4歳、40歳未満の農業従事者は全体の4.2%と高齢化が深刻化するとともに後継者が不足している状況です。

本町でも農家が年々減少しており、平成2年に949世帯あった農家が平成27年には440世帯となり、25年間で半数以上が減少しています。

農業の担い手支援

こうした状況の中で、国や県、町などでは農業を守るため、担い手をサポートするさまざまな支援を行っています。

国では、青年の就業意欲の喚起と就業後の定着を図るため、就業前の研修期間及び就業直後の所得を確保する給付金制度で新規就農者への支援を行っています。

町では、新たに農業にチャレンジし地域に合った新たな農業スタイルの創造・実践・確立をしようとする就農者への支援を目的に平成27年度から「創農チャレンジ応援事業」を実施しています。

本町は中山間地域であるため、稲作では平野などの日当たりのよい地域と比較して収穫量も低く、大規模な圃場整備ができず作業効率も上がらない条件不利地域と言えます。しかし、こうした地域において農業の担い手の確保・育成をするためには、地域で育ち、地域を知り、愛着を持つ

て地域に居住する農業者を守り、農業を安定的に持続させていくことが重要であり、こうした取り組みが地域の農地を保全管理していくことにつながります。さらに、本町は豪雪地域でもあり、こうした条件下で新たな農業のスタイルの確立が求められる地域でもあります。稲作のみの農業経営ではなく、稲作の他に何かを加えた形での複合経営が求められており、本町の環境に適した山菜やきのこ、雑穀、畜産、野菜などさまざまな可能性のある分野に挑戦していくことが必要になります。また、冬期間などに農業以外の仕事に従事しながら収入を確保することも、ツールのひとつであると言えます。

低農薬野菜で健康を守る

こうした地域環境の中で、農業を守ろうと新たに農業を始めた人たちがいます。

昨年度、町の創農チャレンジ応援事業を活用して野菜の栽培を始めた金恵利子さん（小

渡）に話を伺いました。

「以前は、仕事をしながら主人の農業の手伝いをしていました。野菜の栽培はお義母さんが家で食べる分を少し栽培していた程度です。自分が食べる野菜はもちろん、周りの人にもなるべく農薬が使われていない野菜を提供したいという思いと、育苗で使うビニールハウスの有効活用策として、野菜栽培を始めました。小国は他の地域と比べ日照時間や気温などが教科書通りにはいかないため、疑問に思ったことや困ったことなどはサポーターや周りの農家のかたに相談しています。また、小国ではまだあまり栽培されて



金 恵利子さん

特集 農業を支える新たな力～持続可能な農業経営を目指して～



大谷 健人さん

いないメキャベツなどの栽培にも挑戦しており、試行錯誤を繰り返しています。現在は、ナスやキュウリ、ブロッコリーなどを栽培し、金十商店や農協女性部で開催している「恋つちや市場」で出品するほか、飲食店、個人に販売しています。また、小国町野菜生産組合に所属し、学校給食に野菜を提供しています。私は農業を通して食を守ることがもちろん、農薬の少ない食材を生産することで消費者の健康を守っていききたいです。」

創農チャレンジ応援事業では、就農されるかたに地域に根ざした農業を身に付けていただくこと、また、孤立しがちな他地域からの参入者も安心して地域農業が実践できるようにするため、新規就農者

のサポーターになっていただいているかたがいます。

金さんのサポーターの大谷健人さん（西）に話を伺いました。

「小国町では野菜生産者が少なく、生産者を増やして学校給食などに提供し、子どもたちが地元産の野菜を食べられるような環境を一緒に作りたいと思います。サポーターになりました。農家が減ったことで荒れ地も増えており、このまま荒れ地が増えれば、山と住宅地の境がなくなり、クマやサルなどが住宅地まで入り込んでくることにもなりかねません。農業は自分で決めて責任を持つてやることで成果ややりがいにつながります。こうした農業に若い人、そして新しい人が増えて、社会全体で農業を守っていける仕組みが出来ればいいと思っています。」

都会と田舎を

つなぐ農家

大阪府出身で平成22年に緑のふるさと協力隊として小国



栗本 美紀さん

町で活動をしていた栗本美紀さん（泉岡）は、本町に移住して鶏卵を始めています。

栗本さんは、「協力隊の任期後、高知県で鶏卵の研修を受けていました。小国町は、鶏を飼うのにとってもいい自然環境だと思い、移住して鶏卵を始めました。鶏卵を始めるにあたり、地域の方々にご協力をいただき大変ありがたく思っています。市販されている卵は、ゲージ飼いと呼ばれる方法で飼育された鶏の卵です。私は、ストレスをかけず鶏の本来の生活ができるように平飼いで飼育しています。現在30羽飼育し、マタギの館や道の駅などで卵を販売しています。毎週日・月曜の午前9時からたまご取り体験を行っていますので、ぜひ参加して

いただき、市販の卵と食べ比べていただきたいです。まだ販売先が少なく卵が余ることも多いため、販路が課題になっています。今後は販路を築くとともに、飼育数を増やしたいと思っています。また、田舎に興味のある都会の人に、移住のきっかけとなるような取り組みをして、都会と田舎をつなぐ場を作りたいです」と話してくれました。

栗本さんのサポーターの横山隆蔵さん（小玉川）は「協力隊として小国にいたときに鶏を飼いたいと話していたので、高知に研修に行った時にも、ぜひ小国の自然環境で育ててはどうかと勧めていました。自分なりに目標を持って取り組んでいるので、それに向かつて頑張ってもらいたいと思っています。平飼いということで、鶏本来の生活をさせながら採れる卵なので、市販されている卵との差別化を図り、お菓子屋と提携したり、ブランド化していければと思います。また、農家レストランなどでの経験もあると

特集 農業を支える新たな力～持続可能な農業経営を目指して～

農地を守る



横山 隆蔵さん

聞いているので、様々なことにチャレンジするときには、できる限りのサポートをしていきたいと思っています。」と話してくださいました。

今年から稲作を始めた川崎翔さん（大石沢）は「もともと稲作に興味があり、地域内の農地を守るため、農業に挑戦しようと思いました。稲作には水路や日本古来の田園風景の維持などさまざまな役割があります。農業だけではなく、これまでの経験を生かして大工などの副業を持ちながら、自分なりの農業スタイルを確立していきたいです。サポーターの山口さんなど経験豊富な先輩が周りにいること

で、技術やノウハウなどを学べて心強いです。今後は稲作に加え、育苗ハウスを活用し『きくらげ』栽培を行ってみたいと考えています。また、この先も高齢化が進み手入れされない農地が増えると思います。そうした農地をできる限り維持していきたいです。さらに、若い人に、普段当たり前に食べている『米』に興味を持ってもらい、農業に対する関心を深めてもらえるような取り組みを行ってきたいです。」と話してくださいました。

川崎さんのサポーターである山口満さん（大石沢）は「仕事に対して中途半端なことをしない真面目でやる気のある若者を応援したいと思い、サ



川崎 翔さん



山口 満さん

ポーターになりました。早く独立して、町の農業を引っ張っていく存在になってほしいと思っています。農業は自然が相手で難しいこともたくさんありますが、自分の目で作物の状況をしっかりと観察して、いいものを作ってほしいです。また、農業は生産者同士や消費者など、人と人とのつながりがとても重要になります。今は、美味しいものはもちろん、安心安全な食を求めるかたが増えていきます。そうした中で、人と地域とつながり、視野を広くして自分のこだわりを農業に取り入れ、自分らしさがきらりと輝く、納得できる農業の形を確立してほしいです。」と話してくださいました。

持続可能な農業をめざして

農家の高齢化・担い手不足など農業を取り巻く環境は厳しいものがあります。しかしながら、新たに農業を始める方々があり、こうした新規就農者への支援に取り組むとともに、さらにその拡大に向け、地域おこし協力隊などの外部人材の登用を含めた若者や移住者などの農業の担い手育成に向けた新たな施策を展開しています。

また、住宅確保や営農指導、農地・農機具貸与、農業以外の収入確保策の提案などをひとつにしたパッケージ型新規就農支援システムの構築を総合戦略プロジェクトの重点的な取り組みに位置付け、多面的な支援を目指すこととしています。これからも小国町の魅力あふれる作物づくりを進めるため、安心安全な米づくりや振興作物の生産拡大を推進する施策を展開し、地域営農体制の確立と若い世代の農業経営者の育成を推進していきます。

明 表 信 所

平成28年8月2日に就任した仁科洋一町長が、9月8日に開会された平成28年第7回小国町議会において、今後4年間の町政運営にあたっての所信表明を行いました。その内容を抜粋して掲載します。

はじめに



地方自治を取り巻く環境は、急速に進行する人口減少や少子高齢化社会の深化、低迷している地域経済の影響などにより、大変厳しい状況が続いています。しかし、現状に悲観することなく、直面する課題に真摯に向き合い、町民参加を一層促進しながら、きめ細かな分析と徹底した議論に基づいて勇気ある政策判断をし、ふるさとの発展と福祉向上に取り組むことが私に課せられた使命であると存じています。

まちづくりに向けた基本的な考え方

小国町のまちづくりの基本的な方向を示す構想として取りまとめられている現

行の「第4次小国町総合計画基本構想」並びに、「後期基本計画」「過疎地域自立促進計画」、また町民各層からの参画を得て策定された「小国町地域創生総合戦略」といったまちづくり諸計画を改めて紐解き、これらのまちづくりコンセプトを原則として踏襲し、「小国町まるとブランド構想」を展開していきます。

なお、政策の推進にあたっては、これまで進められてきた施策の検証・評価を行うとともに、継続すべき政策は継続し、見直しを行うべきものは英断をもつて

見直し、継続と改革の調和のもと、「自立と創造」の地域経営を行います。

さらに、まちづくりや行政運営において重要である透明性の確保をより一層図るとともに、町民の皆様の声をよく聴き、よく説明し、町民の皆様とともに、希望あふれる元気な小国町を築くため果敢に取り組んでいきます。

重点的な政策の方向

小国町の持続的な発展の推進力は雇用であり、特に若者や子育て世代が安心して暮らしていくためには、町内での雇用や仕事を確保することが重要です。現在の雇用情勢を十分に踏まえながら、起業支援を含めた多様な仕事づくりと雇用のマッチングなど、雇用対策の充実に努めます。さらに、雇用の創出や起業支援などで若者が活躍できる場をつくる一方、住み続けたいと思っていただけ取り組みにも力を入れていきます。

子育て支援策については、新たに病児・病後児保

育の実施に向けた検討を進め、子育て環境の充実を図ります。また、小国の未来につながる人財育成を目指し、奨学金制度の拡充など教育振興の新たな施策を構築いたします。こうした施策を推進することによって、若者や子育て世代にとつての暮らしやすさの確立を目指すとともに、若者が希望を持てるまちづくりを進めてまいります。

人口減少への対応については、人口減少に即した取り組みと、人口減少に歯止めをかける戦略を複合的に展開することが重要であると認識しています。

人口減少に即した取り組みでは、まず「多様な主体による協働・交流・連携のまちづくり」をさらに加速させ、外部人材を含めたたくさんの人々によるまちづくり活動を展開しながら、地域の活力を創造してまいります。人口減少に歯止めをかける戦略では、雇用の確保や子育て支援の充実などにより、若い世代を中心に人口流出を防止するとともに、Ｕターン、Ｉターンなど移住を促進していく施

策を展開します。その一環として、仕事を留意することとはもちろん、空き家を活用した住宅支援なども進めるなど、安心して暮らしていける小国町の特性や環境を広く訴えていきます。

また、「究極の福祉は、親子で住めるまちづくり」と考えておりますので、小国町にとって重要な教育機関である県立小国高等学校への支援策の一助となるよう、子どもを持つ家族の移住支援のあり方などについて、雇用、住宅、教育など各分野が連携し施策を展開することにより、活気に満ちたまちづくりに結びつけていきます。

高齢社会が進む中、元気な高齢者もたくさんいることから、その役割と出番の創出に、より一層取り組んでいくことが大切であると実感しています。居住空間の確保や見守り支援など高齢者福祉の推進や、介護施設の充実化などに取り組むとともに、高齢者の生きがいづくりの場としての活用を含め、高齢者が生き生きと生活できる環境づくりに努めます。



観光交流の推進は、これからの小国町の発展や活性化にとって大変重要な施策です。そのため、既存の交流施設等の活用を促進しながら、観光のまちづくりを充実させていきます。

特に、道の駅は小国町の顔というべき存在ですので、たくさんの方が楽しめるパーク化に向けて、その機能の再検討と拡充を図ります。また、スキー場やハーブパイプコースのさらなる活用策を整理し、小国町の魅力発信基地の一つとして強化していきます。

さらに、飯豊梅花皮荘は、

良質な泉質を持つているとともに、小国町の自然と絶景をいつでも堪能できる、他では得がたい場所であります。この飯豊梅花皮荘を、小国町のおもてなしの空間に進化させるため、中・長期的な視点で機能の向上に努め、観光交流の発信力を高めていきます。

加えて、命の道として整備が急がれる地域高規格道路「新潟山形南部連絡道路」については、観光交流の礎にもなることから、その早期実現に向け建設促進運動を強力に展開していきます。

小国町の有する豊富な地域資源は、外部から選ばれているだけのブランド力を持っていることから、その魅力を伝え、真に選ばれるための戦略となる、本格的なブランド化の促進に取り組む、「小国町まるごとブランド構想」と位置づけて、農産物や観光のみならず、教育、子育てや防災など小国町の暮らしやすさと掛け合わせ、「白い森の国」におけるブランドストーリーとして描くブランド構築を目指します。

政策推進の姿勢

これらの取り組みを展開するために、今まで以上に、政策の推進における町民の参画はもとより、民間活力の積極的な導入なども進めることにより、町民とともに歩む「わくわくするまちづくり」を進める所存です。

重点的に取り組む政策を中心に、計画的に町政運営を進めていきますが、その実効性を担保していくためには、財源の裏付けが必要不可欠です。そのため、さらなる行財政改革を進め、身の丈にあった財政運営に努めていきます。

一方、それぞれの施策の展開にあたり、明確な目標と目的を持つことは当然のこととして、町民の皆様との共有を図り、それぞれの役割において具体的にいつまで取り組むその目標、目的を達成するのか、一定程度の終期を見据えた目標管理が必要であると認識しています。全ての施策を同じ視点で論じることができないものの、政策推進に向け

おわりに

て、情報の透明性をさらに深めながら、町民参加による一体的な取り組みを進め成果を求めています。

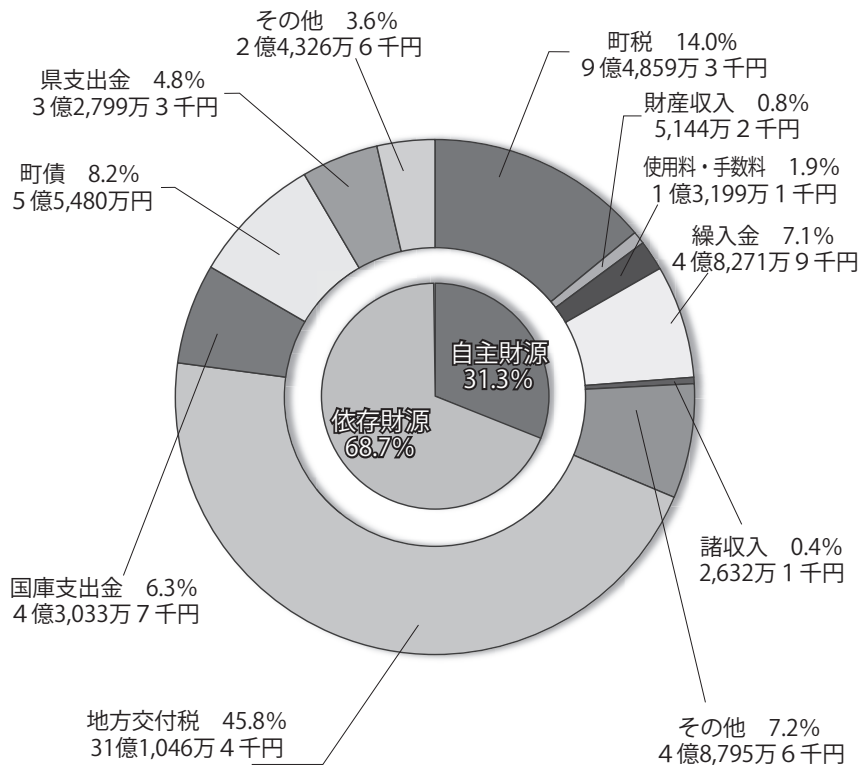
私は、町政運営を図るうえで、3つの点を重視しています。1つめは、社会の動きの中で、町民や民間などが求めるものを提案する「先を見る目」、2つめは、先を見る状況において、いつ、どこに投資するかを判断する「投資のタイミング」、そして3つめが、物事を町民の目線で見えて考えるために「町民の意見を聴くこと」です。この3点を職員と常に共有し、これからの町政運営を進めていきます。

小国町の「白い森」には、たくさんの方の希望があります。こうした希望を、町民の皆様と力を合わせて多様な色で染めながら、5年後10年後、町民の皆様が輝いている町を築いていく所存です。

町民の皆様の深いご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

一般会計 歳入

67億9588万 2 千円
(前年度比+2.3%)



平成27年度

決算報告

平成27年度一般会計と企業会計、特別会計の決算が9月20日、町議会9月定例会で認定されました。同年度の一般会計歳入総額は67億9588万 2 千円、同会計歳出総額は62億5806万 7 千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質収支は5億2687万円の黒字となりました。各会計の決算状況をお知らせいたします。

入ってきたお金

町民税では、前年度給与所得等の回復により個人住民税は増加しましたが、法人税率の引き下げ等に伴い法人住民税が減少し、対前年比3.6%の減となりました。固定資産税では、評価替えによる減少や既存設備の償却等から償却資産が減価し、対前年比3.8%の減となり、町税全体では、対前年比3.6%の減となりました。

国庫支出金は、地方創生における地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金、町民体育館耐震対策に係る社会資本整備総合交付金が増加しましたが、地域経済循環創造事業交付金、臨時道路除雪事業、消費税率の改正に伴う臨時福祉給付金等の減少により、対前年比31.9%減の4億3033万 7 千円となりました。

町債は、小国中央地区都市再生整備事業等の完了により、対前年比13.3%減の5億5480万円となりました。歳入総額では、基金の繰入金が増加したため、対前年比2.3%増の67億9588万 2 千円となりました。

特別会計・企業会計 の決算状況

■簡易水道事業特別会計

収入 5,300万 1 千円
支出 1,761万円

■国民健康保険事業特別会計

収入 9億 7,780万 8 千円
支出 8億 9,659万 1 千円

■部落有財産特別会計

収入 1億 1,063万 5 千円
支出 355万 5 千円

■下水道事業特別会計

収入 3億 8,220万 4 千円
支出 3億 7,302万 6 千円

■訪問看護特別会計

収入 7,908万 6 千円
支出 7,813万 2 千円

■介護保険特別会計

収入 9億 7,326万 7 千円
支出 9億 4,989万 4 千円

■後期高齢者医療特別会計

収入 9,867万 1 千円
支出 9,176万 4 千円

■病院事業会計

事業収益 9億 7,085万 8 千円
事業費用 11億 8,483万 7 千円

■老人保健施設事業会計

事業収益 3億 3,439万 3 千円
事業費用 3億 5,472万 5 千円

■水道事業会計

事業収益 2億 6,664万 8 千円
事業費用 3億 5,840万 9 千円

■工業用水道事業会計

事業収益 1億 1,594万 5 千円
事業費用 1億 3,863万 4 千円

使ったお金

義務的経費では、人件費、扶助費及び公債費が減少したため、前年度比2.4%の減となりました。人件費は、標準報酬制の導入による職員共済費の減などにより、前年度比2409万5千円の減額となりました。扶助費は、臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金などの減により、前年度比2527万6千円の減額となりました。また、公債費では、平成14年度、16年度に発行した長沢三面線整備事業などに充当した過疎対策事業債と、横川ダム湖岸線整備事業などに充当した辺地対策事業債の償還が終了したことなどから、前年度比184万5千円の減額となりました。

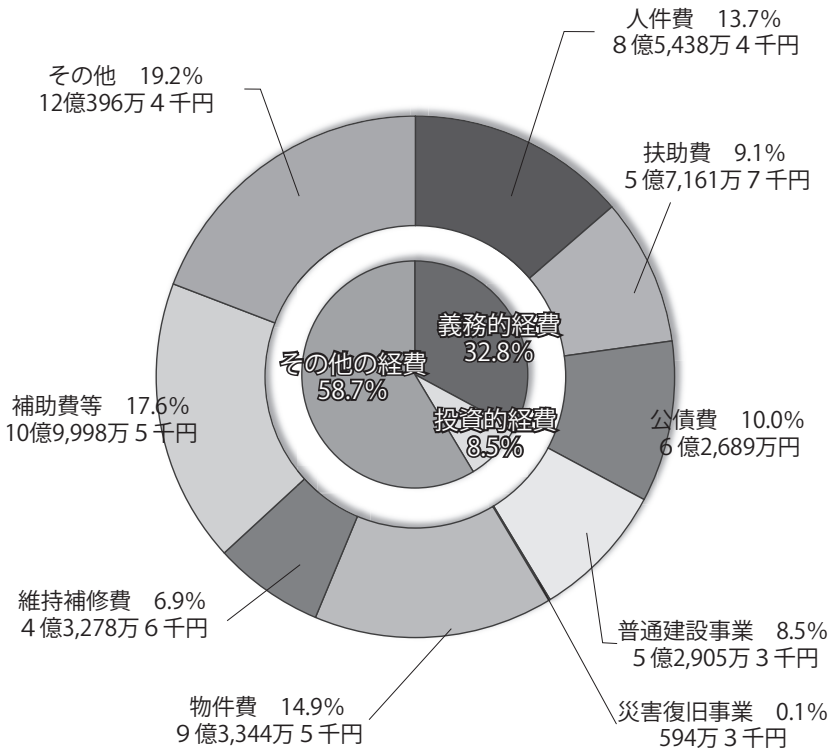
投資的経費では、役場庁舎太陽光パネル等導入事業、町民総合体育館耐震対策事業等の増額がありましたが、小国中央地区都市再生整備事業、地域経済循環創造事業等が終了したことから、前年度比32.5%の減額となりました。このうち普通建設事業では、交流施設省エネ化推進事業、小国中学校耐震補強事業等を実施したほか、継続事業である町道松岡大石線道路改良事業、消防設備整備事業などを実施しました。また、災害復旧事業では、平成26年7月の豪雨で被災した林道田沢頭峠線の復旧工事を実施しました。

歳出総額では、教育環境等整備基金の積立金が増加したことから対前年度比1.3%増の62億5806万7千円となりました。

健全化判断比率

平成27年度一般会計決算に基づく財政の健全化判断基準は、右表のとおりです。比率が早期健全化基準、財政再生基準を超えると、それぞれの財政健全化計画、財政再生計画の策定が義務づけられています。表中のいずれの指標においても、財政悪化の判断基準に達していません。

一般会計 歳出
62億5806万7千円
(前年度比+1.3%)



健全化判断比率の状況

指 標	比 率 (単位%)	
実質赤字比率 一般会計の赤字の大きさを財政規模に対する割合で表したもの	小 国 町	—
	早期健全化基準	15.00
	財政再生基準	20.00
連結実質赤字比率 町の全会計の赤字の大きさを財政規模に対する割合で表したもの	小 国 町	—
	早期健全化基準	20.00
	財政再生基準	30.00
実質公債費比率 町の借入金の返済額の大きさを財政規模に対する割合で表したもの	小 国 町	8.2
	早期健全化基準	25.0
	財政再生基準	35.0
将来負担比率 町の現在抱えている負債の大きさを財政規模に対する割合で表したもの	小 国 町	89.7
	早期健全化基準	350.0
	財政再生基準	—

資金不足比率の状況

公営企業の経営健全化を示す指標で、資金の不足額を営業収益で除した値となります。本町では、病院事業、水道事業、工業用水道事業、老人保健施設事業、簡易水道事業、下水道事業の6会計が対象となります。平成27年度決算の結果、資金の不足額が発生する会計はありませんでした。

平成28年 小国町議会9月定例会

平成28年第7回小国町議会定例会が9月8日から20日まで開催されました。平成27年度歳入歳出決算の認定のほか、平成28年度一般会計補正予算などが審議され、原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

一般会計に

1億7904万4千円を追加

一般会計では、国の事業を導入して実施する地球温暖化対策実行計画の改訂、県の補助事業を活用して行う農業者等の取り組みに対する支援などに要する経費を措置するとともに、財政の健全化を保持していくため、財政調整基金への積み増しを行うこととし、1億7904万4千円を追加し、同会計予算総額は62億7491万2千円となりました。

■温室効果ガスの排出抑制を推進し、地球温暖化防止対策を総合的かつ計画的に推進するため、環境省の補助

事業を活用して小国町地球温暖化対策実行計画を策定することとし、小国町環境基本計画の改訂と併せて取り組むための経費を措置しました。

■中山間地域等の持続的な農地の保全を図るため、一定の傾斜要件を満たす農地において、収益性の高い作物の導入やブランド化による収益力の向上を目指す担い手農家を支援することとし、所要の経費を措置しました。

教育委員を選任

■教育委員の任期満了に伴う人事案件が提案され、次の方々が選任されました。

佐藤健治郎氏（東原） 新任

柴田伸也氏（小国小坂町） 再任

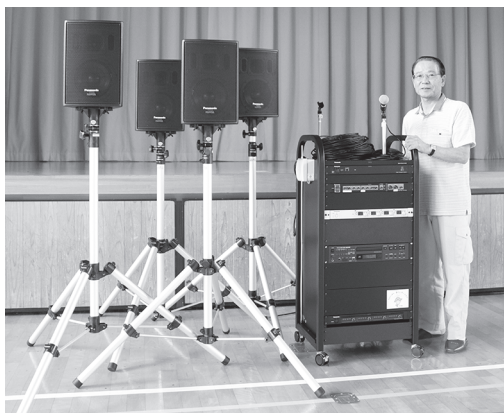
なお、委員の任期満了期日が特定の年に偏ることのないように定めた法の規定に基づき、任期は、佐藤氏が平成32年9月30日まで、柴田氏が平成31年9月30日までとなります。

自治宝くじ
コミュニティ助成事業

北部地区振興協議会で
放送設備一式を整備

この度、北部地区振興協議会（益田勝雄会長）で、盆踊りなどの地域行事で使用する放送設備一式を整備しました。

これは、宝くじの社会貢献広報事業費を活用して整備したものです。益田会長は、「素晴らしい設備を整備していただいたので、小さな拠点づくりなどの活動を継続しながら、地域のさらなる活性化のために活かしていきたいです。」と話してくださいました。



平成28年度
地価調査結果について

平成28年度地価調査結果が公表されました。小国町に関するものは、左表のとおりです。

地価調査とは、各地域で基準となる土地価格を公表し、土地を売買する際の目安等としていただくものです。

■問合先

山形県県土整備部県土利用政策課（☎023・630・2579）へ

所在	当年価格	前年価格	変動率
兵庫館一丁目 6番11	9,240 (円/㎡)	9,370 (円/㎡)	－1.4%
緑町三丁目 9番1	16,700 (円/㎡)	17,000 (円/㎡)	－1.8%
兵庫館三丁目 5番20	7,380 (円/㎡)	7,460 (円/㎡)	－1.1%

お子さんのインフルエンザ予防 接種費用の一部を助成します

町では、インフルエンザの発熱や重症化およびまん延を予防するため、小児インフルエンザ予防接種にかかる費用の一部を助成します。

■対象者 小国町に住所を有し、接種日において生後6か月～中学3年生に相当する年齢のかた

■接種期間

平成28年10月1日～平成29年1月31日

■助成額 1回につき2,000円

■助成回数

6か月～13歳未満・・・2回

13歳以上・・・1回

■その他 対象者には個別に通知します。
詳細については、個別通知をご覧ください。

■問合せ先 健康福祉課（☎61-1000）へ

介護職員初任者研修課程 受講支援事業のお知らせ

介護職員初任者研修課程を受講されたかたは、申請いただくと受講料の一部が助成されます。

■助成対象

①小国町に住所を有し、現在も居住しているかた

②平成28年4月1日から平成29年3月31日までに同研修課程を修了したかた

■助成額

受講料の2分の1（上限80,000円）

■申請方法

研修課程修了後、健康管理センターへ申請

■必要なもの

受講修了証の写し、受講料領収書の写し、印かん、振込先口座番号を確認できるもの

■問合せ先

健康福祉課（☎61-1000）へ

地域資源活用域学連携事業

地域資源活用域学連携事業が、9月7日～12日、16日～20日までの期間、町内各所で実施され、早稲田大学と法政大学、青山学院大学、一橋大学、明治大学、お茶の水女子大学の学生19人が本町を訪れました。これは、地域と大学が連携し、学生が地域に入ることによって、地域資源の発掘や地域のさらなる活性化などに結びつけようと平成25年度から展開している取り組みです。

9月7日からの班では、町内で農家体験・農家民泊を行い、小国の食材を使用した新しいレシピの考案に挑戦しました。また16日からの班では、「山」「川」「つる細工」の3テーマに分かれ、それぞれの分野に精通したかたを訪ねてパンフレットを作成しました。



基地認定10周年記念企画

森林セラピー®ウォーク

「ブナの森温身平」の森林セラピー®基地認定10周年を記念し、温身平の持つ森林の癒し効果を再認識していただくため、無料の森林セラピー体験を開催します。ベテランマタギや山岳会ガイド、森林インストラクターなど「森のプロ」たちと歩く森は、より奥深く豊かに感じられるはずです。

- 日 時 10月29日(土)10:00~14:00
- 場 所 森林セラピー®基地「温身平」
- 集 合 無料送迎バス利用のかた
小国駅前8:30または役場前8:40
マイカー利用のかた
飯豊山荘脇駐車場 9:30
- 定 員 先着30名
- 持 ち 物 雨具、昼食、飲み物など
- 申込期間 10月3日(月)~21(金)8:30~17:15
- 申込方法 電話または町ホームページから申込書をダウンロードのうえFAXでお申し込みください。
- 申込・問合せ
産業振興課観光交流担当 (62-2416) へ

第52回小国町高齢者顕彰式

9月15日、第52回小国町高齢者顕彰式が町民総合体育館を会場に開催されました。

当日は、米寿17人、喜寿63人の計80人が出席し、町長の式辞の後、町からの記念品が贈られました。また、アトラクションでは、小国町ペンタトニックハーモニカクラブのハーモニカ演奏や白百合保育園の園児32人による鼓笛の演奏が披露されたほか、園児から出席者一人ひとりに手作りの祝品を手渡し、大きな拍手が贈られました。



9月19日、町民総合体育館を会場に、小国町交通安全大会が開催され町民や交通安全団体、企業などから約400人が参加しました。

これは、交通安全意識を高めることを目的に町と小国警察署の共催により開催されたもので、町内小学校から募集した交通安全標語の中から、最優秀賞、優秀賞に選ばれた4人の小学生の作品を披露

また、アトラクションとして、山形県警察音楽隊による演奏が行われ、大会に華を添えてくれたほか、小国高校の公認ゆるキャラ「おぐまん」と生徒さんが大会宣言を行いました。

小国町交通安全標語最優秀賞作品
『ぼくの町 大切だから
事故0(ゼロ)に』

小国小学校4年 加藤亮源(かんすけ)くん

表彰したほか、ソーラー式赤色灯付きのパトカー看板などを町に寄贈いただいた、山和建設(株)に感謝状を贈呈しました。

講演会のお知らせ

『田園回帰』がひらく未来

急激な人口減少と少子高齢化に直面し、財政規模の縮小を伴いながら地方の環境は厳しさを増しています。このような状況の中「都市の安定と農村の安心」という視点から「都市農村共生社会」について皆さんと一緒に考えてみましょう。

■日 時 10月19日(水)午後2時15分～
■場 所 おぐに開発総合センター集会室
■講 師

明治大学農学部教授 小田切 徳美氏

■申込み

聴講を希望されるかたは、電話にてお申込みください。

■申込締切 10月11日(火)

■申込・問合せ

総務企画課政策企画担当 (☎62-2264) へ

車いすを寄贈いただきました



米沢市のルネサスセミコンダクタパッケージ&ソリューションズ(株)電子機器部(大橋明部長)から、8月25日、町に車いす1台が寄贈されました。これは、社会貢献活動の一環として同社従業員の方々がアルミ缶回収を行い、車いすと交換し、置賜3市5町に順次寄贈しているものです。

寄贈いただいた車いすは、役場正面入り口に配備して活用していきます。

Q 高校時代の勉強方法は？
A 部活動引退前は、授業をきちんと受ける。引退後は、参考書などを買い勉強しました。
Q どうやって大学を決めましたか？
A オープンキャンパスにはたくさん行き、その大学の雰囲気を実際に肌で感じて、最終的に、楽しく勉学に励めそうなどころに決めました。
Q 大学にはどんな人がいますか？
A 日本全国はもちろん、外国からも留学生が来るから、いろんな人と交流して、知り合いになつて、たくさんの刺激をもらえます。

大学生と一問一答

「私の学び、高校生へのメッセージ」

9月12日に早稲田、一橋、法政大学の学生のかたを小国高校に迎え、お話をする機会をいただきました。普段は触れ合う場面のない学生のかたに、専門分野の研究から日常生活の話など、聞きたいことのすべてを聞くことができました。今後の進路決定に生かすことのできる貴重な時間になりました。

益田晃太



今月からおぐまん通信と題し、小国高校生に高校の活動や行事などを紹介していただきます。



齋藤翔哉さん



益田晃太さん



この他にもたくさんの方の質問に答えていただきました。専門分野の研究のお話をされている時の熱のこもった口調が、とても印象に残りました。

「インターシップを通して住宅設計を体験」

齋藤翔哉

今回のインターシップで、中原企画設計さんにお世話になりました。事前課題を用意していただいたり、実際に模型を作らせていただいたり、忙しい中でも丁寧に指導していただきました。

《将来住みたい家の構想・模型作り》

テーマは「浴室中心の家づくり」。リビングとほぼ同じ広さの浴室に、サウナや水風呂を設置することで、一年中温泉気分を味わいリラックスすることのできる家を目指しました。私は自分の好きなことだけを考えて設計しましたが、中原さんいわく、「町全体の意見を取り入れ、町全体のことを考えた家づくりをして初めて家が完成する」とのこと。奥が深いと考えさせられました。貴重な体験をありがとうございました。



日頃の想いを堂々と発表 ～第55回少年の主張小国地区大会～



第55回少年の主張小国地区大会が、8月30日に小国中学校体育館で開催され、小国中学校と叶水中学校の生徒4人が出場しました。大会では、部活動や地域行事、社会問題などを通して気づいたこと感じたことを、実体験を交えながら持ち時間5分間に込めて力強く発表しました。会場には、保護者や地域のかたなども訪れ、4人の堂々とした発表に大きな拍手を送りました。

審査の結果、小国中学校3年の今優花（ゆうか）さん（西）が最優秀賞、叶水中学校2年の松井あきらさん（叶水）が優秀賞、小国中学校3年小池進哉さん（白子沢）と同校3年永井珠莉（あかり）さん（町原）が優良賞を受賞しました。

迫力の舞を披露 ～舟渡獅子踊り～

9月11日、舟渡地区で町指定文化財の「舟渡獅子踊り」が行われました。

この日は、初めて入山地内で沖庭権現に1番庭を奉納したのち、舟渡地区活性化センターで、1番庭、2番庭、3番庭を演じました。会場では、笛の音色と歌声に合わせ、鮮やかな衣装の踊子と迫力ある獅子の舞いに、大きな拍手が贈られていました。舟渡獅子踊りは、舟渡公民館青年文化部が中心となり、2年に1度豊年祭りで披露し、地域の方々によって大切に継承されています。



職業観を養いました ～小国高校インターンシップ～



小国高校2年生によるインターンシップ（職場体験）が、9月13日と14日の2日間、町内外の26事業所で行われ、2学年の全生徒43人が参加しました。これは、各事業所での実際の業務を体験し、将来の職業選択に役立てられるよう、毎年実施しているものです。

塩川自動車整備工場で職場体験をした安部洋平さん（長沢）は、「車に興味があったのでこの仕事を選びました。この体験を通して、車のつくりなどを教えていただき、さらに車が好きになりました。将来は自動車整備士を目指したいです。」と話してくれました。

体の疲れを解消！ ～子育て講座「ヨガ」～



9月6日、子育て講座「ヨガ」（子育て支援センター主催）が健康管理センターを会場に開催され、13組の親子が参加しました。

ヨガインストラクターの資格を持つ村上小百合さん（栄町）を講師に招き、体の凝りやリンパの流れをよくする運動などをし、日ごろの子育てで疲れた体をほぐしながら、ゆったりとしたひと時を過ごしました。子どもたちは、お母さんたちがヨガをしている間、みんなで仲良くブロック遊びやヨガをしているお母さんの間をかけっこするなどして遊び楽しい時間を過ごしていました。

土俵際のせめぎ合い ～稲荷神社奉納相撲大会～

クアーズテック(株)小国事業所の稲荷神社奉納相撲大会が、9月9日、クアーズテック相撲場を会場に行われました。

この日は、同社親会社のクアーズテック・インク共同最高経営責任者ジョナサン・クアーズ氏、マイケル・クアーズ氏兄弟も出席し、個人戦、団体戦などを行い、熱戦を繰り広げていました。クアーズテック(株)の社員の他、日本重化学工業(株)小国事業所からも選手が出場し、団体戦の結果は、優勝が日本重化学工業チーム、準優勝が工務チーム、3位が透明・ルツボチームとなりました。



緑のふるさと協力隊 のぐち たつひこ
野口 達光

「行事目白押し」



8月は行事が目白押しでした。五味沢地区での生態調査、天狗平で行われたキッズサマーキャンプ、北部地区での第2回の盆踊り大会など、他にも多くの行事に参加させて頂きました。そして夏休みということもあり、今まで以上に子ども達との交流が多い月でもありました。私が小さい頃は地域行事に参加した記憶がそこまで多くなく、積極的に参加をしている子ども達の姿を見て、小国の子供達達は素直で積極性のある子が多いと感じました。

9月に入り、朝晩の肌寒さを感じながら秋の訪れを感じています。さて、今年度の古田歌舞伎の公演に役者として参加させて頂くことになりました。演目は、以前、沖庭小学校でも演じられていた、小国のかたには馴染み深い「白波五人男 稲瀬川勢揃いの場」です。練習に参加させて頂いていますが、まだまだ皆さんにお見せできる形にはなっていません。しかし、小国町に来たからこそこのような機会を頂けたのだと思って精一杯努めさせて頂きます。10月29日に小国小学校体育館にて公演会が行われます。芸術の秋を感じに、ぜひお越しください。

募集

町営住宅入居者募集

《町営住宅あけぼの団地》

2DK 1戸（1階）

■家賃 所得と家族構成による

■対象 所得制限あり

《町営小坂町団地》

3DK 1戸（3階）

■家賃 所得と家族構成による

■対象 所得制限あり

《あけぼの高齢者団地》

1LDK 1戸（1階）

■家賃 所得と家族構成による

■対象

▽世帯所得が月額21万4千円以下で住宅に困っているかた

▽60歳以上のかたで自立した生活をおくることができ、同居の場合は同居するかたが配偶者または60歳以上の親族であること。

《小坂町勤労者住宅》

2DK 3戸（1、2、3階）

■家賃 38000円

■対象 町内事業所にお勤めのかた

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 10月11日（火）

■入居時期 10月下旬以降

■問合先 地域整備課建設管理室（☎62・2431）へ

県営住宅入居者募集

■募集住宅 3DK 9戸

■家賃 所得により決定

■対象 入居世帯の所得制限あり

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期間

10月11日（火）～17日（月）

■入居時期 12月上旬

■申込先 置賜総合支庁西庁舎（長井市）総合案内窓口

■問合先 県営住宅指定管理者（株）西王不動産置賜事務所（☎0238・24・2332）へ

自衛官候補生募集（随時）

■募集 自衛官候補生（男子）

■資格 18歳以上27歳未満

■受付期間 11月18日（金）まで

■試験日程 受付時にお知らせします。

■問合先 自衛隊米沢地域事務所（☎0238・23・0011）へ

ご案内

第23回大里峠越え交流会

■日時 10月16日（日）

■内容 関川村側から小国町側へ大里峠越え、交流会

■参加費 無料

■持ち物 昼食、飲み物、山頂に奉納する折鶴

■申込・問合先

地域整備課建設管理室（☎62・2431）へ

古田歌舞伎 定期公演

■期日 10月29日（土）

■開場 12時30分

■公演 13時30分～15時30分

■場所 小国町立小国小学校体育館

■問合先

古田歌舞伎保存会 会長 木村公弘（☎090・4884・3658）へ

映画「あん」上映会

樹木希林主演の人権問題を考える感動映画を上映します。

■期日 10月30日（日）

■時間 午前10時・午後2時（いずれも30分前開場）

■会場 飯豊町民総合センター「あーす」

■入場券 大人1300円（前売り1000円）・中高生500円

■問合先

久保道典（☎090・5358・5043）・鈴木桂樹（☎62・2129）へ

里親ってなんだろう
～里親のいづれをもっと知ってください～

里親について広く知っていただくための講演会を開催します。里親について少しでも関心があるかたは、ぜひご参加ください。

■日時 10月16日（日）13時～15時

■場所 米沢市すこやかセンター

■申込・問合先 児童養護施設興望館（☎0238・38・6109）へ

10月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■4カ月児健診

- ・期 日 10月21日(金)
- ・受付時間 13:10～13:20
- ・対 象 平成28年6月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 10月21日(金)
- ・受付時間 13:00～13:10
- ・対 象 平成27年10月生まれ

■3歳児健診

- ・期 日 10月14日(金)
- ・受付時間 12:30～13:00
- ・対 象 平成25年2月、3月、4月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他 母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センターへ

子育て支援センターから

■10月の広場日程

広場名称	曜日	時間
なかよし広場 子育て講座は 10月13日(木) 10月20日(木)	月 火 木	9:30～11:30
赤ちゃん広場		13:00～15:30
パパと遊ぼうの日	10月15日(土) 9:30～11:30	

■対象者

なかよし広場 就学前のお子さんとお家のかた
赤ちゃん広場 18カ月までのお子さんとお家のかた
パパと遊ぼうの日 就学前のお子さんとお父さん

■その他 申込不要です。お気軽にご参加ください。(時間までに会場へお集まりください。) 平日はいつでも子育て相談に応じています。

■問合先 子育て支援センター (おぐに保育園内 ☎62-2330)

求 人 情 報

右の表は9月20日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

今月の納税 2016.10

10月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

- 10月26日(水) 水道料
- 10月31日(月)

町県民税(3期)、国民健康保険税・後期高齢者保険料、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料等

■問合先

町民税務課税政管理室へ

事業所名	職 種	求人数	勤務時間
山和建設(株)	ガソリンスタンド業務【急募】	1人	7:00～17:00 他
	一級土木施工管理技士・一級建築施工管理技士【本社】	3人	8:00～17:00
小国町森林組合	運転業務(トラック運転)	1人	7:30～17:00
	(臨) 直売所販売・作業員	1人	8:00～17:00 他
	伐採・集材・造林・保育作業員	2人	7:30～17:00
特定非営利活動(NPO) 法人まんまる	支援員	1人	8:30～17:00
大河内産業(有)	一般事務員	1人	8:00～17:00
(株)高山総業	一般土木作業員	5人	8:00～17:00
(有)三好荘	調理員	1人	5:00～9:00 他
	調理補助	3人	6:00～9:00 他
(有)横川自動車整備工場	自動車整備工	1人	8:30～17:30
小国運輸機工(株)	大型トラック運転	1人	8:30～16:45
荒川興業(株)	製造加工	2人	8:30～17:05
長谷川工業(株)	NC 旋盤オペレーター	1人	8:30～17:00
	マシニングオペレーター	2人	8:30～17:00 他
大和建設運輸(株)	土木施工管理技士	1人	8:00～17:00
	大型トラック運転手	1人	
(株)横川建設	事務員	1人	8:00～17:00
小国町介護老人保健施設 温身の郷	調理業務補助員(洗浄専門)	3人	6:30～11:30 他
(株)金十商店	(臨) 一般事務	1人	6:00～19:30の間の5時間程度
	(臨) 生鮮作業業務	1人	
	(臨) レジ業務	1人	

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。
※町ホームページに求人情報を掲載しています。

国民及び県民健康・栄養調査を実施します

国民健康・栄養調査は、健康増進法に基づき国民の身体状況や栄養摂取量などを確認するため毎年行われる調査です。

県民健康・栄養調査は、県民の栄養摂取量などの実態を把握し、栄養と健康の関係を明らかにするため、6年に1回行われる調査です。

いずれも健康増進の総合的な推進を図るための基礎資料となる重要な調査です。

■調査実施時期 10月～11月

■調査世帯 県内3,000世帯程度（無作為抽出）

■内 容 ①栄養摂取状況調査（国民・県民）②生活習慣調査（国民）③身体状況調査（国民）④健康と生活習慣に関するアンケート調査（県民）

■その他 ①～③の調査については、置賜保健所の担当者が説明を行います。④の調査については、調査員が調査票の配布回収を行います。調査対象世帯のかたはご協力をお願いします。

■問合せ先 置賜保健所保健企画課（☎0238-22-3004）または山形県健康長寿推進課（☎023-630-2919）へ

山形県行政書士会長井支部からのお知らせ

行政書士は、皆さまからの依頼により、車庫証明・農地転用・建設業をはじめ各種業法の許認可や届出など、官公署に提出する書類を代理で作成、提出します。

【無料相談会】 毎月第4火曜10:00～12:00

場所：長井市役所市民相談センター

■問 合 先 山形県行政書士会長井支部（松山和好行政書士事務所内☎87-1800）へ

無料調停相談会

■日 時 10月15日(土)10:00～15:00

■場 所 長井市会場「小桜館」、白鷹町会場「中央公民館」

■受付内容 夫婦・家庭間問題、遺産相続、土地の境界問題・ご近所とのトラブル、交通事故のトラブルなど

■問合せ先 長井簡易裁判所（☎0238-88-2073）へ

総合センター図書室から

～新着図書～

◇ツバキ文具店

◇大人の流儀6 不運と思うな。

◇コンビニ人間

◇陸王

◇トキジイと太郎杉

休館日 毎週月曜日・祝日

小 川 糸

伊 集 院 静

村 田 沙 耶 香

池 井 戸 潤

千 年 太 郎

相 談

▽年金相談

■日 時 10月19日(水)
10:30～14:00

■場 所 役場町民相談室

■対応者 米沢年金事務所職員

■申込み 事前に申込みが必要です。

■申込・問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

▽人権相談

■日 時 10月19日(水)
10:00～12:00

■場 所 おぐに開発総合センター

■対応者 町人権擁護委員

■問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

▽消費者相談

■日 時 10月22日(土)
10:00～12:00

■場 所 役場雇用相談室

■対応者 司法書士 舟山健蔵氏

■申込み 事前に申込みが必要です。

■申込・問合せ先 町民税務課町民生活担当へ

▽行政相談

10月17日(月)から23日(日)は行政相談週間です。行政についてお困りになっていることなどございましたら、無料でご相談に応じます。

■日 時 10月22日(土)〔特設相談日〕
10:00～12:00

■場 所 役場

■相談員 行政相談委員 齋藤恒助氏

■問合せ先 町民税務課町民生活担当へ

第14回おぐに鍋まつり

いろいろな鍋が出品されます。ぜひ食べ比べてお楽しみください。

■日 時 11月6日(日)11:30販売開始

■場 所 アスモ西口駐車場

■その他 当日は、おぐに再発見自然の恵み大感謝祭も同時開催されます。

■問合せ先

おぐに鍋まつり実行委員会

(小国町商工会内☎62-4146) へ



- 小国町役場 ☎62-2111(代) fax62-5464
●行政管理局 ☎62-2112 ●企画財政室 ☎62-2264
●国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403 ●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260
●農林振興室 ☎62-2408 ●商工観光室 ☎62-2416 ●会計室 ☎62-2406
●建設管理室 ☎62-2431 ●建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448

10月の あいベイベント フラダンス教室



- 日時 10月12日(水)19:00~20:30
■対象 どなたでも
■持ち物 タオル、飲み物など
■参加費 500円(保険代込み)
■申込締切 10月12日(水)正午まで
■申込・問合先 **おぐにYui**
(☎62-5808) スポーツクラブ

白い森芸術祭 作品募集

町では、9月30日(金)~12月3日(土)の期間を「白い森芸術祭」と題して、様々な芸術文化イベントを企画しています。皆様が創作している書道、生け花、絵画等の作品を展示してみませんか。

- 展示期間 11月3日(木・祝)~5日(土)
■展示場所 町民総合体育館 1階
■対象 小学生以上が創作した作品
■作品 書道や絵画、写真などのほか、手芸品、民芸品、郷土資料なども募集します。
■申込み 10月20日(木)までに、教育委員会教育振興課にある申込書にご記入ください。
■搬入 11月1日(火)9:00~17:00
■搬出 11月5日(土)17:00~18:00
■その他 上記時間帯に各自で搬入・搬出してください。上記時間帯に搬入・搬出できない場合はご相談ください。
■出展費用 無料
■問合先 教育委員会教育振興課
(☎62-2141)へ

マタギの里小玉川トレッキングツアー

- 日時 10月29日(土)9:00~14:00
■場所 樽口峠ブナの森七曲リトレッキングルート
■集合 9:00 国民宿舎飯豊梅花皮荘駐車場
■定員 先着30名
■対象 どなたでも
■参加費 4,000円(案内料、昼食代、保険料など)
■内容 トレッキング、河原でのいも煮会、温泉入浴
■持ち物 防水性のウエア上下、帽子、手袋、タオル、トレッキングできる靴など
■申込締切 10月21日(金)まで
■申込方法 電話またはFAXでお申込みください(電話は火曜~金曜の9時~17時の間)。お申し込み時、氏名、性別、生年月日、住所、連絡先電話番号をお知らせください。なお、詳細は町ホームページをご覧ください。
■申込・問合先 小玉川地区自整協事務局 (☎64-2008)へ

とうほく街道会議第12回交流会

越後米沢街道・十三峠大会

越後米沢街道十三峠をとおして、置賜・岩船地域の魅力を探り、その歴史的意義や今後の活用方法を考えます。

- 日時 11月4日(金)~5日(土)
■場所 川西町「フレンドリープラザ」ほか
■内容
1日目 越後米沢街道十三峠フォーラム
2日目 街道探訪会(峠の散策ほか)
■対象 どなたでも
■参加費 無料(探訪会のみ2,500円)
■申込・問合先 越後米沢街道十三峠交流会事務局(NPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊)(☎62-5955)へ

入札結果情報(平成28年8月21日~平成28年9月20日実施)

単位(円)

入札日	工事名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
H28.9.6	平成28年度小型分機機購入	あけぼの	H28.10.31	3,600,000	(株)メディセオ米沢支店	3,388,000
H28.9.7	平成28年度トンネル非常警報設備保守点検業務委託	綱木箱口	H29.3.31	2,314,000	(株)東洋技研山形営業所	2,000,000
H28.9.7	平成28年度町道小坂町朝篠線種杉橋他7橋橋梁補修設計業務委託	種沢外	H28.11.11	9,970,000	大日本コンサルタント(株)山形営業所	9,400,000
H28.9.14	平成28年度飯豊梅花皮荘山崎屋二階休憩室エアコン交換修繕工事	小玉川	H28.11.4	1,683,000	猪野電気工事(株)	1,620,000
H28.9.16	平成27年度繰越社会資本整備総合交付金事業町道松岡黒沢峠線道路改良工事	松岡・黒沢	H28.11.25	10,663,000	安部工業(株)	10,500,000
H28.9.16	平成28年度小国町公共下水道事業小国浄化センター水処理計装設備等更新工事	増岡	H29.3.10	43,154,000	(株)東芝東北支社	42,500,000
H28.9.16	平成28年度小国町公共下水道事業小国浄化センター汚泥処理設備更新工事	増岡	H29.3.10	8,735,000	水ing(株)東北支店	7,700,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。



戸籍のまど

(8 月 届 出 分)

誕生おめでとうございます。

小国町 渡部 舞結 (和真 哉理)

東原 渡部 朝陽 (哲也 希)

小国小坂町 加藤 よつ葉 (信愛)

小国町 高見 悠 (義人 祥)

結婚おめでとうございます。

(長井市 鈴木 大介
小国小坂町 鈴木 智美)

おくやみ申し上げます。

今市 高野 マサ子 (88)

北 伊藤 チエ (85)

栄町 猪野 智子 (83)

綱木箱口 眞下 喜江子 (72)

小国小坂町 塚原 カネ子 (70)

中島 山口 貞井 (82)

新股 小野 廣昭 (71)

※この欄に掲載を希望しない方は、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき (平成28年8月31日現在)

人口 男・・・3,964 人(－1)

女・・・4,082 人(－1)

計・・・8,046 人(－2)

世帯数 3,109 世帯(－3)

編集後記

先日は、富士山では初冠雪を記録したと、ニュースで報道されていました。最近の季節感も、秋の気配が感じられるようになりました。10月は、各所で紅葉のシーズンが本格化しています。おぐにでも、秋の気配を感じていただきたいと思います。

シリーズ⑥

僕たち、私たちのスポーツ少年団

『陸上スポーツ少年団』



陸上スポーツ少年団は、小学校3年生から6年生までの団員29人で活動をしており、県大会で優勝、全国大会で上位入賞するなどの成績を収めています。

代表指導者の井上賢和さん(沼沢)は、「スポーツの基礎である『走・跳・投』を中心に、陸上競技だけでなく様々な種目を体験させることで、スポーツへの親近感やチャレンジする好奇心を育み、生涯を通してスポーツを続けていける人材を育成することを目標にしています。」と話してくださいました。

キャプテンの西長嵩良(たから)くん(幸町)は、「全員が自己ベストの更新を目指し、真剣に練習しています。個人的にはオリンピック選手になれるように、これからも練習を頑張りたいです。」と陸上に打ち込むチームメイトの様子を話してくれました。

副キャプテンの和田愛奈さん(岩井沢)は、「自己ベストを更新したときや、リレーでみんなでバトンをつないでゴールしたときはとても楽しくうれしいです。」と陸上の魅力を話してくれました。

募集団員

小学校3年生～6年生

活動日時

水曜日 17:30～18:40

土曜日 9:30～11:30

(概ね土曜日は月2回活動)

活動場所

スポーツ公園陸上競技場

(雨天：町民総合体育館)

問合先

代表指導者 井上 賢和

(090-1066-2785)